

岩手醫專對岩中盛中混合軍

四月二十七日 (於上田グラウンド)

醫專キックオフで開始、グラウンドはぬかるみ多く苦戦をなす混合軍は全然まともりなくF・Bにボール渡りし事なく遂に醫專良きプレーを示し48對0で混合軍敗れる。

岩手醫專對岩中戰

五月二日 (於上田グラウンド)

▲前半 醫專キックオフ十八分岩中陣二十五ヤード邊のルーズの球を醫專拾ひ右にF・Bパス、右隅に飛び込んでトライ(醫專3—0岩中)

▲二十五分醫專陣二十ヤードスクラムの球を醫專F・Bにパスせんとして失し、岩中其の球をつつかけてドリブルに移り、藤村君中央におさへてトライ(醫專3—3岩中)

▲後半 十二分岩中ゴール前のスクラムを醫專良くホキールし左中央にトライ(醫專6—3岩中)

▲二十六分岩中陣五ヤード邊でスクラムを再三繰り返し岩中好防に努力したが醫專

ラグビー部

委員 菅野記

春の部

我がラグビー部は昨年の榮冠を再び勝ち得んと春の太陽の下で岩手公園グラウンドで猛練習を続け、涙と汗により積み重ねられた此の腕を持つて戦場に出馬す。

F・Wに於ては、昨年の選手を全部送り出した後の顔振れとしては、敏速體格小軀の四年の原君のセンター、強力の四年佐々木三年遠藤君の名フッカー、頑張り強い三年小澤君。

F・Wに於て、五年生唯一人の頑張家細谷君等のセカンドロー、四年小軀大江君のバックローによつて我が岩中ラグビー部の第一線を固め、今年度の我がF・Wは相當頑張り得る力が十中八・九あるものと確信したH・Bに於ては、體軀巨大、勇敢な五年菊池君のフライングハーフ、試合馴れのある快足、敏速な五年藤村君のスクラムハーフ古參の長軀精巧な菅野君のスタンドフに於て連絡を取つて居る。

F・Bに於ては、昨年來の選手であつて短距離選手にして其の駿足を利用する若山君のウイング、巧緻に富む五年相田君のF・Bセンター、新人の頑強な四年太田君のウイングによつてバックラインを堅固ならしめて居る。

F・Bに於ては、新人のキックの妙技機敏な四年藤田君によつて第一線の者に安心を與へて居る。

斯くして威風堂々たる我が闘士等は新學期早々岩手公園グラウンドに於て照る目も曇る日も唯黙々と血のにぢみ出る様な猛練習を重ねて來た。

の押し強く再びスクラムトライを擧ぐ（醫
事）——3岩中）遂に岩中敗れる。

醫專 { 9 3 } 岩中
0 3

此の一戦で日常の努力の不充分なるを知
つた。

岩中對盛中戦

五月十日（於上田グラウンド）

▲前半 岩中始より勇氣百倍しぐんぐ
敵陣ゴール前に接近し遂に七分盛中ゴール
前のラインアウトの球を岩中F・Wが得て
藤村、菅野、若山とF・Bのパス鮮かに右
中間にトライ（岩中3——0盛中）

▲九分盛中キックオフにより猛然と飛び
込みしが、岩中F・W良くキャッチし敵陣
二十ヤード邊にもり返し、其の後互に一進
一退し一方側の試合となり遂にハーフイタ
イムとなる。

▲後半 岩中前半と同じく始より押し五
分にして盛中五ヤード邊にてスクラムを組
み球は盛中に出て右F・Bにパスせんとし
たが失し岩中H・B藤村君拾つて左中間に
トライゴール成らず（岩中6——0盛中）

▲二十九分盛中最後の大奮闘物凄く岩中
陣二十五ヤード邊のルーズの球を盛中拾ひ
F・BよりC強引に走つて中央にトライゴ
ール成らず（岩中9——3盛中）

岩中 { 6 3 } 盛中
3 0

岩中メンバー左の如し。

木	藤谷澤江部	池村山	田山手田	田
々	原			
佐	遠細小大阿	菊藤若	相若川太	藤
F.W		H.B	T.B	F.B

醫專と對戦後の我々の熱と力、涙汗結晶
は榮冠を握る迄に至らしめたのであつた。

岩中對土崎工場戦

七月六日（於上田グラウンド）

戦はずしてすでに敵を呑むの氣慨が現れ
て居たが體力の差に於て又兵營生活の疲勞
のため慘敗した。

▲午後零時四十分より岩中先蹴に開始し
岩中前半良く頑張り岩中3——3土崎の試
合を行つた。

▲後半に於いては岩中昨日迄の疲勞が現

れて來たのか次第に元氣なく結局體力の差
で岩中3——13土崎となり敗れる。

土崎工場 { 10 3 } 岩中
0 3

(岩中)	木	藤谷澤江部	池村野	田山手田	田
々					
佐	原遠細小大阿	菊藤菅	相若川太	藤	
F.W		H.B	T.B	F.B	

合宿記

夏季休暇を利用して七月二十七日より一
週間日詰小學校に於て炎熱照り輝く太陽の
下で汗みどろの練習をした。我が學校の先
輩でもあり又ラグビー部の先輩でもある戸
島先生、昨年の名フッカー中野、中村兩君
にコーチして戴いて秩序ある正しい氣持の
良い練習をした。

（午前） 朝六時起床し七時朝食し九時よ
り十二時迄練習。

（午後） 十二時半晝食し三時より六時迄
練習し、六時半夕食し、九時消燈ホイツス
ルの一聲で朝六時に起床。

八時半頃より仕度して九時ホイツスルの

一笛によつて餘り遠からぬ日詰小學校へ駈足だ、着くと直ぐ三時間の猛練習だ。

晝食は「ウマイ」「ウマイ」の連發。

午後はまた炎熱と戦ひながら、ラニングパス、タツクル、セビング、次々と元氣よく行ふ中に又六時迄の練習は終りとなつてしまふ。此の様にして一日の日課をも終へて一同歸省する頃には太陽も西空に傾き暑さも何處へやら過ぎ去り涼しき風は我々のほゝをつたはつて過ぎ、街には貧しげにも電燈の灯がかすかに輝いて居る。

斯くして一週間の苦難苦闘と戦ひ意義ある合宿練習を無事に終つた。

秋の部

八月の休暇もまたたく間に終り、我等は猛練習を積み重ねて秋の定期ラグビー戦を待つ。

北日本選手権大會記

九月二十七日（於上田グラウンド）

岩中對盛中戦

▲前半 盛中キツクオフで開始され盛中

相當の攻撃を見せたが岩中試合馴れしてゐないので十分頃迄は岩中陣前にて苦戦し好防に努め互に凡戦をくり返へす。

▲十一分遂に盛中攻撃に攻撃を加へて岩中のすきを狙ひ岩中陣左コーナーを突くも効無し。

▲十五分又も盛中體力を以つて當り、岩中好防せしも岩中B君岩中陣二十五ヤード前にて惜しくも反則を犯し盛中岩中陣二十ヤードのペナルティキックはゴールポストを狙ひしが惜しくもバアに當り、返へる球を盛中TBつかんで岩中陣左コーナーを突くも成らず。

▲十七分岩中此の頃より調子出で岩中自陣よりのロングキックは約四十ヤード盛中陣二十五ヤードへ押し込む。更に岩中スタンドフ菅野のフエント見事二十ヤード進むも押へらる。此の時盛中の反則を拾ひ岩中二十五ヤードペナルティキックはゴールポストを狙ふも風的作用によりて成らず。

▲二十五分岩中益々調子出で攻撃に攻撃を加へ日頃の實力をいよく發揮して來て更に岩中盛中陣コーナーを突きしがタイト

スクラムは盛中ペナルティキックを得て岩中強しとばかりにタツチに逃がれて盛中危く危険を逃がる。

▲二十八分岩中ルーズより球を得てハーフよりウイングに渡し苦山進むも盛中の好タツクルにはばまる。更に敵陣に進み盛中陣左コーナーを突きしもペナルティキックにて返さる。

▲三十分盛中陣ゴール前の盛中Cの反則を拾ひ岩中ペナルティキックゴールポストを狙ふも惜くもはづれる。

▲後半 二分岩中猛然と突進し盛中陣十ヤードのルーズより早くもハーフ藤村球を拾ひ強引に突込んで敵陣ポスト左十ヤードに最初のトライを擧ぐ、コムパート成らず（岩中3——0盛中）

▲十分岩中いよく好調を示し岩中センタライン上のペナルティキックは大きく盛中二十五ヤード内に飛びしが盛中の面々變色し盛中TBで危く返へす、後約十五分は兩軍實力を以つて攻防に努め互の無意なる兩軍のキツク或は小パス等で兩軍センチラインをはきんで一進一退す。

▲二十六分盛中岩中強しと知りいよく敵の獨特の暴力を以つて對戦し、盛中センターよりのルーズの球を拾ひ其のまゝ暴力

を以つて突込み岩中T・Bラインをぬいで好フオローのパスは岩中好タツクルにはばまる盛中暴力はタイム直前益々示し盛中二十五ヤードのペナルティキツクは三十五ヤードゴールを狙ふもといかず、盛中十ヤードタツチとなりノータイム。

岩中 3 0 盛中 0 0

(岩中) 木 藤谷澤江島 瀬村野 山田田池 田々 佐原遠細小 長藤菅 若相太菊 藤

F.W H.B T.B F.B

(盛中) 澤藤藤田内藤 藤橋樫 村樫田村 藤 樋谷齋下堀佐 工高八 川八吉大 工

此の決勝こそ日頃の實力を發揮したものだ。

省みれば斯く上達熟練したのも一にも二にも諸先生の御努力と又茲に立派なる名選

手として天下に名をたゞへられた戸島先生の御努力と今更蔭ながら深く感謝して居ります。

遠征記

全日本ラグビー大會東北豫選

十月九日 (於東北帝大評定河源)

岩中對梅檀中戦

北日本に名をなして居る仙臺の雄梅檀中學と對戦する爲に先輩諸兄校友諸君の熱烈なる見送りを受け重き任務を擔うて彼の地に向つた。

▲前半 岩中先蹴で試合開始され、梅檀去年の耻を報へんとばかりに猛然と突込み岩中二十五ヤード線内に壓迫し、岩中好防に努めしがゴール前でスクラムを繰返へすうち十分梅檀のH・Bスクラムサイドを巧に抜けて岩中陣右中間にトライ(梅檀3-0岩中)

▲十五分岩中敵のトライを取り返へさんとばかりに意氣將に昇天し、猛然と攻撃し中央二十五ヤード線附近でペナルティキツクを得てゴールを狙つたが僅に風の作用に

より右に反れて空しくその後兩雄互に攻防に努め更に梅檀の攻勢に移り混戦に混戦を續けてハーフタイム。

▲後半 梅檀キツクオフと同時に直に前半の一トライの意氣に燃えて岩中陣に突進したが反則あつて岩中ペナルティキツクを得て中央に返へしたが十分又もや梅檀突進に突進したまゝチャンスがあつたが岩中の好防の爲ドロップアウトとなり、此の頃より岩中の面々必勝の信念に燃え俄然奮起し梅檀中陣に逆襲し中央線を挟んで一進一退。

▲二十分更に岩中攻撃に攻撃を加へて突進せしが敵にはばまれ、後梅檀の突進あつたが岩中のドロップアウトとなる。

▲二十五分岩中突進物凄ぐF・Wドリブルで敵ゴールに迫つたが惜しくも梅檀ドロップアウトとなり岩中いよく死にものぐるひに攻勢に出で接戦に觀衆を酔はせたがそのまゝノータイムとなり遠來の我が岩中ラグビー部惜敗す。

梅檀中

3 0 岩中

(中岩)

木 藤谷澤江島 瀬村野 山田池田 田
佐原遠細小大 長藤菅 若相菊太 藤

F.W

H.B

T.B

F.B

(檀梅)

藤藤(陸) 山部葉條 子(長) 德(半)
佐後庄畠阿千南 庄川川 武櫻松小 野 田井崎寺 田

敗れたと雖も實力の點に於ては決して劣
つては居ないのだ。唯武運拙なかりしを嘆
くのみ。

願くば後輩諸君!!若葉生え出づる春と共
に勇み立ち黙々として各自の責務を全うし
てくれ。而してラグビー部の歴史を一步踏
み出さんことを切望致して筆を擱く。